

エネルギー・環境問題の解決に向けては「経済、社会、技術的要素を融合して問題を総合的に解決する」ことが必須です。環境研究会では、広範な技術領域をも取り込むことで、こうした様々な社会課題解決に対し、深く研鑽し、社会に貢献することを目指してきました。

2011年3月11日に福島原発事故が発生しました。福島原発事故から丸8年を記念してシンポジウムを開催します。エコ・サポートは当会の活動を継承し、コンサルタント・日本の窓口としてインドネシア政府の2機関と共同開発契約を結び、取得した特許をプラットフォームにして膨大なCO₂ゼロの燃料化を目指します。能力と意欲のある企業の事業参画・拡大を願っています。

テーマ インドネシアの最大の産業への参画
 ～パーム農園からの資源・燃料化(2050年への道筋と実践)～

日時 2019.3.11(月) 13:30～16:30
 場所 大阪商工会議所 401 会議室(最大 150名)
 主催 日本技術士会近畿本部登録環境研究会
 後援 大阪商工会議所



地下鉄堺筋本町駅 12番出口徒歩7分

1. シンポジウム内容

第1部 100分

基調講演：莫大な資源を理想的な形で活用する

野邑 奉弘 大阪市立大学名誉教授、工学博士(熱工学)

インドネシア政府：BPPT(技術研究応用庁)からの報告

Irhan febijianto 氏 工学博士(山口大学) 三者共同開発の窓口責任者

本課題に関する環境研究会の活動の経緯(2011年～) 安カ川常孝会長

エコ・サポートからの報告 ①特許とその有効性 深田晃二(技術士)

②活動概要と展望 山本泰三(技術士)

休憩(質問票の配布・回収) 20分

第2部 パネルディスカッション 60分

インドネシアと日本のエネルギー革命：技術者の夢の実現に向けて

コーディネーター：野邑 奉弘 大阪市立大学名誉教授、工学博士(熱工学)

パネリスト：インドネシア BPPT(技術研究応用庁)：Irhan 博士

エコ・サポート：安カ川①、山本代表取締役②、深田、倉田、松尾取締役

(①環境研究会会長、②環境研究会 元企画担当幹事)

2. 費用

環境研究会会員、学生 無料
 同会員以外 1,500円

3. お申込み・お問い合わせ

メールでのお申し込み 環境研究会連絡担当：藤橋 雅尚 m.fujihashi@nifty.com

Faxでのお申し込み 次頁記載

シンポジウム参加申込書

会社・団体名	(ふりがな)		
所属・役職名		氏 名	(ふりがな)
所 在 地	〒 ー		
TEL		FAX	
E-mail			

Fax 送付先 06-6444-3740

以上